

伊賀市議会 だより

No.78
2024.8.1

行ってみよう 聞いてみよう！



写真左から

小田町住民自治協議会

生涯学習支援員

書記

会計

市民センター所長

会長

市民センター事務員

もりした
森下
たにがわ
谷川
やまだ
山田
つじおか
辻岡
はせ
長谷
たいら
泰羅

のりこ
則子さん
やすこ
康子さん
しげあき
茂明さん
きよみ
清文さん
いくお
伊久男さん
けいこ
恵子さん

特集

深い調査と議論で よりよい市政へ

常任委員会 今年度の活動・・・ P2

＜主な掲載内容＞

6月定例会月会議	・・・ P 4
5月緊急会議	・・・ P 7
7月緊急会議	・・・ P 7
市政を問う 一般質問	・・・ P 8
令和5年度政務活動費の報告	・・・ P14
インタビュー 人と地域がつながってイキイキ活動紹介	・・・ P16

関連記事は 16 ページ

深い調査と議論で

伊賀市議会では、3つの常任委員会が各分野に関する

常任委員会 今年度の活動

調査項目

総務常任委員会

- 市有財産の活用のルールについて
- 議員・委員会提案条例の進捗状況と効果の検証について
- 指定管理者制度について
- 地区市民センターの指定管理について
- 補助金等交付団体への支出状況について



教育民生常任委員会

- 読書、学力について
- 学校みらい構想に係る現状と課題について
- 不登校の現状と対応、フリースクールについて

産業建設常任委員会

- 伊賀市の適正な土地利用に関する条例について
- にぎわい忍者回廊整備事業について
- 衛星画像を使って判定する水道管水漏れ実証実験について



出前講座から提言へ

産業建設常任委員会

農業委員会と意見交換 5月28日

出前講座では、国の農政の動きとともに市内農業者の減少、米価の低い現状について認識を深めました。そのうえで、農業委員の業務については、「地域計画」の素案づくりなどの業務も増えていることや他市の報酬額との違いも踏まえ、農業委員・農地利用最適化推進委員の報酬が増額される必要があることや女性委員の登用を増やすことなどについて、共通認識することができました。

提言書を提出 7月3日

【提言の概要】

(1) 農業委員会の委員報酬の適正化について

農業委員会の委員は、農地等の利用の最適化を推進するため、多くの業務を行っているが、農地法に基づく権利移動の許可等の件数増による会議への出席や、現場の立ち合いなどの業務が増加している。加えて「地域計画」の法定化に伴う業務を行うこととなり、そのため「協議の場」に参画しなければならないが、「協議の場」の開催は夜間になる場合も多い。さらに「地域計画」は、完成後も継続的な見直しが必要となることから、その進捗管理や更新業務を将来にわたって行っていく必要がある。

このような業務量の増加を鑑み、委員報酬について見直しを行い、委員の負担や責任を考慮した適正な水準へ引き上げるよう提言する。

(2) 女性の委員の登用について

農業従事者に占める女性の割合が減少する中で、農業分野への女性の経営参画を推進する必要がある。農業委員会においても、女性を登用することによって、男性だけでは持ち得ない経験や新たな情報網など地域内の多様な意見に基づいた検討を行うことにつながり、組織の活性化や業務の進展等の効果が期待できる。国の第5次男女共同参画基本計画においても、農業委員に占める女性の割合を令和7年度に30%にすることを目標としていることから、女性が活動しやすい環境づくりを進めるよう提言する。

提言書は、市議会ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

伊賀市議会ホームページ
QRコード▶



議長と産業建設常任委員長から市長に提言書を提出しました

より良い市政へ

調査を行い、積極的に市政に提言を行っています。

所管事務調査

■総務常任委員会■

○6月19日

【市有財産の活用のルールについて】

令和5年度に改訂された「伊賀市市有財産利活用の手引き」の内容や、手引き作成の発生源などの調査を行いました。

【議員・委員会提案条例の進捗状況と効果の検証について】

一点目に、伊賀市補助金等適正化条例について、「伊賀市補助金等の適正化に関する指針」の改定の内容や、補助金の効果を評価する補助金管理シートなどの調査を行いました。

二点目に、伊賀市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例については、効果や評価の仕組みや、市が株式を保有する法人についての関わりなどの調査を行いました。

○6月27日

【指定管理者制度について】

制度運用と見直しの状況や、放課後児童クラブへの制度の適用、指定管理者の選定方法を非公募から公募に切り替えていくことなどの調査を行いました。

【地区市民センターの指定管理について】

現状の取組内容や、指定管理者の運営の自由度を高めること、指定管理者の災害時の役割などの調査を行いました。

【補助金等交付団体への支出状況について】

補助金の効果を評価する取組や、伊賀市シルバー人材センターや伊賀市文化都市協会への補助金や委託料の支出が適正かどうか調査を行いました。

■教育民生常任委員会■

○5月27日、29日

【学校における読書活動推進事業について】

市内4ヶ所の小学校図書館の現地調査を行いました。現地調査では、読書の記録や感想の共有のためにタブレットが活用されていることなど、各校の先進的な実践を紹介していただきました。

○6月20日

【読書活動推進事業について】

現地調査を踏まえ、学校司書の配置の必要性や、読書の習慣づけのための課題について、教育委員会と意見交換を行いました。

【不登校児童・生徒の現状と支援について】

不登校児童・生徒の現状や、現在行われている支援内容、今後の取組み、専門職の人数・体制などについて教育委員会から説明を受け、長期欠席の兆候のある児童・生徒に対する丁寧な対応などを求めました。



上野西小学校での現地調査

■産業建設常任委員会■

○6月18日

【にぎわい忍者回廊整備事業について】

約56%の進捗率で、計画どおり、建設中の忍者体験施設を現地調査しました。事業実施主体の担当者から、工事の安全面などで工夫されていること・忍者体験施設・飲食売店・お土産販売・隠れ宿（宿泊）・忍者レストランなどの配置の説明を受けました。

伊賀鉄道や上野公園などに対する眺望などについても理解が深まりました。



忍者体験施設1階工事現場の現地調査



伊賀市自転車等駐輪場条例の一部改正

全員賛成で
可決

伊賀鉄道伊賀線の利便性の向上及び公共の場所における自転車等の放置防止を目的として整備した茅町駅駐輪場を条例に加える改正を行います。

質疑（総務常任委員会 6月19日）



茅町駅駐輪場

問 自転車を停める面積は十分か。

答 駐輪場は、全長約15メートルで、停車台数は約30台となります。昨年の利用状況をみると可能かと考えます。来年度はトイレ建設計画もあり、駅全体の形を整理していきたいです。

問 土地の所有者である近鉄とは協議中か。

答 近鉄との土地の借用の中で、鉄道の活性化に資するものであれば許可することが大前提であるため、了承いただけると理解しています。

問 放置自転車への対策は。

答 パトロールの業務委託に入れるかどうか、利用状況をみて検討したいです。

赤井家住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正

全員賛成で
可決

赤井家住宅と他の文化財施設を総合的に管理するため、赤井家住宅の指定管理期間等を改める改正を行います。

質疑（産業建設常任委員会 6月18日）

問 他のどの文化施設と総合的に管理するのか。

答 史跡旧崇広堂や入交家住宅等です。

問 一元管理することにより赤井家住宅を利用する事業者にメリットがあるのか。

答 スケールメリットも得て活用がさらに広がります。

問 他の施設と利用料金や使用時間等について違いがあるか。

答 若干異なっているところが想定されますが、必要に応じて整理していきます。

問 一体的に管理することにより、セット料金等の導入で安くなるか。

答 これから協議していきます。



赤井家住宅

工事請負契約の変更

全員賛成で
可決

青山中学校の大規模改修工事の契約金額を、インフレスライドによる請負代金の金額変更や屋内運動場の屋根の防水シート撤去の追加などの理由により、約3,100万円増額します。

質疑（教育民生常任委員会 6月20日）



青山中学校

問 追加工事の必要性は事前に分らなかったのか。

答 目視では異常がなかったが、工事入札の公告後に学校から雨漏りの報告がありました。

問 いがまち地域の学校の改修計画は。

答 「学校施設長寿命化計画」に基づき、令和7年度から11年度の間に施工する予定です。

問 労務単価の引き上げ分が下請け業者の人件費に反映されるかのチェック体制は。

答 人件費だけのチェックは難しいですが、元請業者に伝えます。

令和6年度一般会計補正予算（第3号）

3億2,436万1千円の増

子育て支援施策の情報発信に係る経費、障がいの有無に関わらず子どもたちが遊べるインクルーシブ遊具の整備に係る経費、新型コロナウイルスワクチン定期接種に係る経費、コミュニティ助成に係る経費などについて所要額を補正。

【主なもの】

○子育て施策情報発信事業	4,663万9千円
○青山保健センター管理経費	352万円
○公園施設更新事業	2,900万円

討 論（予算常任委員会 6月21日）

反 対 伊賀市の子育て施策が、全国版の新聞広告や著名人を活用した情報発信に相応しいのか疑問である。「伊賀市に関係のない著名人による発信に違和感が生じ、マイナスイメージになるのでは」という子育て世代の声もある。情報発信の予算については、子育て世代や市民の理解が得られないと考えるため反対。

賛 成 議案全体については賛成する。歳出の子育て施策情報発信事業4,663万9千円及び当事業に関わる歳入の1,600万円の部分について、市のブランド力を向上させるために何らかの広報施策が必要なのは理解するが、今回提案された内容に関しては、巨額の支出にも関わらず、広報のターゲットとその効果に相応しい媒体選択の説得力に欠けると判断する。前回、当初予算の一般会計予算を議会が修正したときに、費用対効果を確認のある形で説明されないままということが提案理由になっていたが、今回その部分が解決されていないと判断する。

修正議案提出

発議第6号 議案第71号 令和6年度伊賀市一般会計補正予算（第3号）に対する修正について

令和6年度一般会計補正予算に計上された子育て施策情報発信事業4,663万9千円を削除

賛成多数で

可 決

【主な提案理由】

2月定例会月会議で今回同様の目的の広報事業が提案されたが、その費用対効果を確認できる説明がなされなかったため、全会一致で予算から削除した。今回は、前回提案の新聞広告に加えて著名人活用などが盛り込まれたが、予算常任委員会における質疑で、事業の到達点やそれに至る道のりが明確に確認できなかった。

巨額の経費を執行するには効果が極めて不透明であるため、この情報発信事業予算案を認めるわけにはいかない。

討 論（本会議 6月27日）

賛 成 子育て世代が、どのような政策を必要とされているのかを知ることが、一番大事で、時と共に、他の自治体の子育て支援政策も充実してきている。予算をかけるのであれば、政策の充実が先であると考えため、賛成する。

反 対 子育て施策情報発信事業は、働きながら子育てできる伊賀市を、子育て世代に訴えるものとして目的効果を明確にしており、企業の協力を盛り込む官民連携事業として、財源の確保、市民負担を極力軽減しながら実施できるものと考えため、反対する。

賛 成 市長が今回の事業をやりたいという意味はすごく感じるが、「なるほど」と納得できる説明が無かったため、賛成する。

反 対 企業も協力的であることは大きな理由である。伊賀市を元気にしていくタイミング、効果、周知を図るのは今しかない。

反 対 前に進む伊賀市の未来への投資として効果あることを期待して、反対する。

全員賛成で

可 決

発議第6号で修正議決された部分を除く、令和6年度伊賀市一般会計補正予算（第3号）は、可決されました。



請願

国に健康保険証の存続を求めることについて

賛成多数で

採択

請願採択後、「国にマイナ保険証におけるデジタル弱者への適切な対策を求める意見書」を国の機関等へ提出する発議が提出され、賛成多数で可決されました。

請願者 伊賀地区退職者連合 稲森 眞文

紹介議員 山下 典子

意見書提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、デジタル大臣

討 論 (本会議 6月27日)

反 対 マイナ保険証にすることによって、多くのメリットがある。伊賀市においては、高齢者や自ら市役所に出向いて申請ができない方に対し、マイナンバーカードやマイナ保険証の手続きができるよう、お家で申請ができる訪問支援の取り組みをいただいていることなどから、反対とする。

賛 成 保険証の存続は、マイナ保険証への不安や危険を感じている伊賀市民の切実な願いで、その市民の願いを受け止めるため、賛成とする。

賛 成 請願は、デジタル弱者への配慮を求めているため、賛成とする。

議員提出議案

選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書の提出

全員賛成で

可決

選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた積極的な議論を行うよう強く要望する意見書を、国の機関等へ提出します。

防災・減災、国土強靱化対策の拡充を求める意見書の提出

全員賛成で

可決

国に対し、防災・減災、国土強靱化対策をより一層推進するための措置を講じることを強く求める意見書を、国の機関等へ提出します。

ガザ地区における平和の実現を早期に求める決議

全員賛成で

可決

ガザ地区における紛争にかかわるすべての当事者及び国際社会に対し、人道目的の即時停戦、すべての人質の無条件の解放、国際人道法の遵守、人道支援物資の供給の改善を図り、人道上的危機的状況を早期に解決し、一刻も早い平和の実現を求める決議をしました。

議員永年勤続表彰

「第100回全国市議会議長会定期総会」及び「第107回東海市議会議長会定期総会」において、3名の議員が永年勤続表彰を授与されました。

議員永年勤続15年表彰 上田 宗久 議員

同 上 百上 真奈 議員

議員永年勤続10年表彰 市川 岳人 議員

令和6年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）1億6,845万円の増

全員賛成で
可決

国民健康保険事業特別会計直営診療施設勘定診療所費における令和5年度収支の不足額について、地方自治法施行令第166条の2の規定に基づき、令和6年度予算から繰上充用を行うため所要額を補正。

審議した議案と各議員の賛否

5月緊急会議

○：賛成 欠：欠席 ー：西口議員は議長のため採決に入っていません。

件名	賛成 反対	議決 結果	北山 太加視	釜井 敏行	西條 工リ子	西田 方計	濱瀬 達雄	増田 雄	森中 秀哲	川上 善幸	北森 徹	西口 和成	福岡 正康	宮崎 栄樹	桃井 弘子	山下 典子	市川 岳人	赤堀 久実	田中 覚	上田 宗久	近森 正利	中谷 一彦	百上 真奈	中岡 久徳
市長 提出議案	令和6年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	20：0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○

6月定例会会議

○：賛成 ×：反対 ー：西口議員は議長のため採決に入っていません。

件名	賛成 反対	議決 結果	北山 太加視	釜井 敏行	西條 工リ子	西田 方計	増田 雄	森中 秀哲	川上 善幸	北森 徹	西口 和成	福岡 正康	宮崎 栄樹	桃井 弘子	山下 典子	市川 岳人	赤堀 久実	田中 覚	上田 宗久	近森 正利	中谷 一彦	百上 真奈	中岡 久徳
請願	国に健康保険証の存続を求めること	15：5	採択	○	○	○	×	○	○	○	ー	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○
議員 提出議案	議案第71号 令和6年度伊賀市一般会計補正予算（第3号）に対する修正	13：7	可決	×	○	×	○	○	×	×	ー	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×
	国にマイナ保険証におけるデジタル弱者への適切な対策を求める意見書	16：4	可決	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○

全員賛成で可決（同意を含む）した議案

市長 提出議案	●令和6年度伊賀市一般会計補正予算（第3号） 〔修正議決部分を除く〕	●伊賀市特別用途地区建築条例の一部改正
	●伊賀市自転車等駐車場条例の一部改正	●工事請負契約の変更
議員 提出議案	●伊賀市手数料条例の一部改正	●事業契約の変更
	●伊賀市地区市民センター条例の一部改正	●工事施行に関する協定の締結
議員 提出議案	●伊賀市家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	●教育委員会委員の任命（岡森 史枝 氏）
	●赤井家住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	●監査委員の選任（岡森 正人 氏）
議員 提出議案	●選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書の提出	
	●防災・減災、国土強靱化対策の拡充を求める意見書の提出	
	●ガザ地区における平和の実現を早期に求める決議	

濱瀬達雄氏の議員辞職により、公職選挙法第112条第5項の規定に基づき、福村教親氏が繰上補充により当選人となったことに伴い、議席の指定、議席の変更、常任委員の選任を行いました。

委員会委員に変更がありました ◎…委員長 ○…副委員長

令和6年7月16日現在

総務常任委員会

◎宮崎 栄樹 ○北山太加視 福村 教親 市川 岳人 田中 覚 中谷 一彦 百上 真奈

広報広聴委員会

◎桃井 弘子 ○森中 秀哲 北山太加視 釜井 敏行 西田 方計 福岡 正康 百上 真奈

市政を問う

一般質問

一般質問は、6月13日、14日、17日の3日間で、18人の議員が市政に対して質問をしました。その主なものを掲載しています。

QRコードからは、各議員の一般質問の動画（YouTube）をご覧ください。

にしだ みちかず 議員 西田 方計

質問項目

- 地域支援のあり方
- スポーツ振興と上野運動公園競技場のあり方
- 交通政策のあり方



問 市職員の地域への関わり方の充実を

交付金算定ミスからの教訓は。

答 今回の件については申し訳なく思います

今後、いっそう地域としっかりコミュニケーションをとり、ていねいに向き合うことを大切にします。

問 伊賀FCくノ一三重の本拠地でもある上野運動公園をもっと魅力的に

伊賀市のスポーツの中心的エリアとして、管理上運営上の課題等を改善できませんか。

答 よりよい方向となるよう考えていきます

使用申請等の窓口一本化や指定管理者との連携により、改善を図ります。

問 公共交通の定期券購入助成事業を今後も工夫して継続を

通学定期で公共交通を利用している方への半額助成は、利用促進や家計支援だけでなく、通学費格差の緩和、また公共交通への関心を高めるためにも重要。

今後の計画は。

答 「子ども・子育て施策」と捉えています

副次的に教育的支援につながっていると考えます。高校生を含む子育て世代に対するサポートとして考えていきます。

問 上野総合市民病院の機能性・安全性・快適性は

病院は、先進的な治療を提供するための設備が整っていることと同様に居心地の良い空間であること、高水準の安全性が求められます。上野総合市民病院の本館は建てられてから約半世紀経過していますが、病院に求められる機能性等は担保されていますか。

答 ソフト面を充実させてハード面の古さをカバーします

昭和53年建築の本館は平成22～平成23年度に耐震改修する等、病院機能を維持するための更新や改修を行っています。

また、離床センサー付ベッド等患者の安全性を向上させる設備の導入もしています。またフリーWi-Fiの設置等をして快適性を担保しています。

問 クマの目撃情報があった場合の対策は

答 情報発信します

クマであることが未確認の場合は近隣の小中学校等に状況を知らせるにとどめます。クマであることが確定したら、市HPの緊急情報、防災情報アプリ「ハザードン」、公式LINEや報道機関に情報提供します。

やました のりこ 議員 山下 典子

質問項目

- 男女共同参画
- 伊賀市立上野総合市民病院
- 鉄道利用者の通学定期券拡充
- 成人式の日程変更
- クマ対策



なかたに かずひこ 議員 中谷 一彦

質問項目

- 伊賀鉄道の現状と今後
- インフレスライド条項
- 単身高齢者等の賃貸入居を円滑にするための伊賀市の支援
- 公共施設民間活用事業の進捗状況



問 伊賀鉄道収支計画が-1.2億円に悪化

R3年中間評価で計画値を下方修正。収入・支出も実績は計画値を上回った。しかし、人件費がR3年128%、翌年120%に増え持続可能な経営に望まれる施策とは。

答 地域交通を支える事業も創設や経費に対し支援策も増えています

再構築調査検討業務において経営状況の分析や今後の社会情勢を予測した運営想定、車両や施設の更新、保守の見直しなどを整理します。近鉄には退職前の職員ではなく若い職員の出向、JRには忍者市駅発名古屋行き列車の運行など、利便性を高める取り組みを要望しています。

問 三重県新労務単価の適用は

インフレスライド条項による公共工事の契約変更で下請業者への新労務単価適用は確認されていますか。

答 労働者個人への労務費の転嫁までは確認できていません

元請業者が下請業者に部分下請負させる場合は、通知書提出を義務づけ、変更時も含め契約内容や金額が正確に伝達されているかは確認しています。

一般質問

か ま い と し ゆ き
釜井 敏行 議員

質問項目

- 伊賀市におけるPFI事業の検証と今後の活用方針
- 介護・福祉人材の確保策
- 大阪・関西万博への小中学生の学校行事での参加



問 新図書館建設におけるPFI事業の評価は

新図書館は、宿泊施設の併設や貴重書庫の位置など、市民の理解を得られていない状況だと思いますが、それはPFI事業※1の負の側面だという認識はありますか。

答 理解は得られていると考えています

様々な意見があることはSPC※2と市が連携し確認しています。貴重書庫の位置はSPCで検討しており、まもなく検証結果が出ますので改めて説明します。

問 大阪・関西万博の評価は

大阪・関西万博に学校行事で、児童生徒が行くことについて、安全性や学習効果をどのように評価していますか。

答 「来てほしい」ということは安全だということです

安全性が担保されないと「来てほしい」とはならないので、安全が担保されていると思います。教科書や文科省の文書に学習効果があるという趣旨の記述があるので、パビリオンの建設に関係なく学習効果はあると思います。

※1 民間の力を活用し、民間主導で公共サービスを提供する手法

※2 特別目的会社

問 消防ポンプ庫とホース乾燥塔の状況は

消防ポンプ庫及び三脚又は四脚の鋼製ホース乾燥塔の安全性と建替え計画はありますか。

答 建築年が判明するポンプ庫64棟は耐震性を有し、鋼製ホース乾燥塔の耐震性能は不明

現在、使用中の消防ポンプ庫は103棟、建築年が明確なものが64棟で新耐震基準を満たしています。残る39棟は今後調査を進め、耐震診断の必要性を検討します。

また、鋼製のホース乾燥塔の建替え計画は無く、耐震性は確認できていませんの

で、使用状況を踏まえ、修理又は撤去するかの方向性を決めます。

問 「防災士」資格取得者の拡大を

答 防災士は112名・女性防災サポーターは41名が登録しています

防災士は民間資格ですが、4月末で112名の方が登録されています。

また、伊賀市では女性防災サポーター養成講座を開催しており、3月末で41名の登録となりましたので、今後の防災訓練では防災人材の方々の協力を得て、地域防災力を高めてまいります。

きたやま たかし
北山 太加視 議員

質問項目

- 地域防災の拠点となる消防ポンプ庫
- 防災力の高い地域を目指して



みやざき えい き
宮崎 栄樹 議員

質問項目

- 伊賀消防署東分署と阿山分署の統合による機能強化
- 旧町村エリアの魅力を高める地域拠点形成はどこまで進んでいるのか



問 統合分署の機能を強化し「東の防災拠点」に

現在、伊賀消防署の阿山分署と東分署（いがまち）の統合の検討が進められています。統合により、人員の集約による消防力の強化や建設コストの削減などをしていますが、現状2分署で不十分な機能と、新たな機能（ヘリポートや防災倉庫）を整備し、より一層消防力や災害対応能力を高めることについて見解を伺います。

答 前向きに取り組めます

地域みなさんと話をしながら、必要な機能を充実させていきたいと思っています。

問 上野に一極集中ですか

伊賀市都市マスタープランでは、市の将来像を多核連携型都市とし、中心市街地を交流拠点、上野南部を行政拠点、旧町村の支所周辺を地域拠点としています。現状、中心市街地は行政主導でプロジェクトが進み、旧町村の地域拠点形成は声があれば考えるという状況です。

周辺地域は切り捨てですか。どのようなまちを目指していますか。

答 多核連携型の都市構造を目指しています

一般質問

はませ 濱瀬 たつお 議員

質問項目

- 伊賀市のにぎわいによるまちづくり



問 上野卸売商業団地を含めた市役所周辺を商業地に開発していきますか

市内、県内外の方々が少し寄るようなお店が市役所付近になく、不満の声が聞かれます。

答 方向性を探っていきます

市役所、卸売商業団地周辺は名阪国道沿いまたは、友生ICに近い好立地で重要な地域です。卸売商業団地関係団体との協議や、若者会議にアイデアも借りながらプランの作成を進めていきます。

問 子ども若者が楽しめる施設を

明石市や桜井市の駅前にあるような、市内外から子ども、若者が集まる、雨の日も夏冬の厳しい気候の時も楽しめる室内レジャー施設を作りませんか。

答 ハイトピア伊賀には子育て包括支援センターなどがあります

4階の子育て包括支援センターは、母子相談や子育て教室のほか子育て中の親子が気軽に集い遊べる場として活用いただくほか、5階の生涯学習センターは、若者も含め、あらゆる世代が交流できるスペースとして多くの方々にご利用いただいています。

問 保育所等に地域連携推進員の配置を

養育不安や虐待といった親子の問題、貧困やDV、多国籍化する家庭の問題、子どもと養育者の疾病や障がい、さらに保育士と保護者のコミュニケーショントラブル等、その種類は様々で、通常の保育所で行う保護者支援では対応しきれない場合があります。

こういった背景から、国は基幹保育所内で相談支援を実施し、他の保育所等へも巡回をし、支援内容によって必要とする場合、要保護児童対策地域協議会と連携し、各関係機関に繋げ協議すると進めています。市としてのお考えは。

答 こども家庭支援課の専門職員が同様の取り組みを行っています

当課の専門職員は、相談内容やこどもの様子を確認するために保育所を訪問し、状況を把握して家庭訪問や保護者面談等を行う中で、要支援児童等やその保護者への適切な指導や支援が行えるよう、状況に応じて児童相談所等関係機関や要保護児童対策地域協議会にて協議し、適切に支援をしています。

あかほり 赤堀 くみ 議員

質問項目

- 誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策
- 保育所等における要支援児童等対応推進事業



さいじょう えりこ 西條 エリ子 議員

質問項目

- こども・子育て支援
- 阿山保健福祉センターの有効活用



問 「こども誰でも通園制度」導入に向けた市の見解は

令和8年度から全国で開始予定の、親の就労を問わず保育を利用できる「こども誰でも通園制度」を三重県では令和6年4月から松阪市が試行的に実施します。伊賀市の実施に向けた見解を伺います。

答 伊賀市子ども子育て支援事業計画に反映させ検討します

令和8年度の本格実施に向けて市内保育所の利用定数の確認や量の見込みなど調査研究し、また、他市の運用も情報収集し、未就園児と保護者に対してより良い生育環境の提供ができる制度となるよう検討します。

問 保育人材確保のために

津市のように人材確保するために伊賀市においても保育士就業における支援事業の取り組みを検討できませんか。

答 保育士確保における就業支援は重要な取り組みと認識しています

先進自治体の取り組みを情報収集し、近隣自治体の動向を踏まえて検討し、保育士からの意見も聞きながら効果的な対策を実施していきたいと考えます。

一般質問

ますだ たけし
増田 雄 議員

質問項目

- 次世代へ繋ぐ観光施策



問 高級感のある宿泊観光に、宿泊税の導入を

自主財源を得ることによって、それを財源として様々な観光振興施策を充実できます。

答 宿泊税導入の機は熟しました

持続可能な財政を考えると財源の掘り起こしが必要です。宿泊業者や市民の理解をしっかりと得ながら、県内での導入を一番乗りできればと考えます。

問 社会教育施設との認識のもと、よりスピード感をもって美術博物館の整備を

答 スピード感をもって進めます

文化等を五感で感じる場所がない、その蓄積を感じることができないのは、市民にとって損失と思っています。最後のチャンスと考えます。

問 奨励する職種をしばっての細かいエリアマネジメントを

カフェ、伊賀焼体験、くみひも体験、忍者体験等が通りごとに集まるほうが、回遊の利便性も良くなると考えます。

答 伊賀者横丁を作りたいと思っています

空き家だけでなく空き地の有効活用でも、まとまった所で様々な楽しめる所の整備がこれからの課題です。

問 産業振興としての働き手呼び込むための施策は何ですか

伊賀市では20年後には生産年齢人口が約2万人減少すると推定されています。ゆめが丘や名阪国道沿線の工業団地などの働き手の確保策についてお尋ねします。

答 伊賀市では、移住者や若い方々の経済的負担を軽減、子育てしやすい環境づくりをめざします

また「伊賀流空き家バンク制度」は、選ばれる伊賀市の移住施策の一つとして貢献しています。空き家で成約された中には、企業などが社宅として活用されている物件もあります。

問 伊賀市では県営ほ場整備事業の実施以降40年以上が経過し経年劣化が進むかんがい揚水場などの施設は万全ですか

答 伊賀市では多面的機能支払い交付金事業に99組織が取り組んでいます

かんがい施設の老朽化や農業従事者の減少による施設管理不足や劣化の進行を防ぎ、施設の長寿命化を図るため、法面の草刈りや水路の泥上げを行い施設の維持管理を行っています。

うえだ のりひさ
上田 宗久 議員

質問項目

- 人口減少が進む伊賀市の覚悟と産業振興の担い手
- 稲作農業を支える地域営農集団などの諸課題



もりなか ひであき
森中 秀哲 議員

質問項目

- 24時間使用可能なAEDをもっと地域に
- 市民に愛され、活用される「美術博物館」にするために



問 市公共施設のAED※を、夜間・休日にも使えるような設置方法に

24時間使えるAEDは市内に19台。旧郡部は特に不足しています。市民の命を守るため、学校・支所・市民センター等公共施設のAEDを建物の外に設置してください。

答 いつでも誰でも使えるよう、検討します

公共施設のAEDは、いつでも誰でも使える場所に配置されるのが望ましいと考えます。リース契約更新に合わせて、順次、設置場所を検討していきます。

問 美術博物館は建設を急ぐより、丁寧な検討で市民に愛される施設に

今年度末までに基本計画完成というスケジュールでは、子ども、市民、学校教育現場の意見を十分採り入れ、市民に愛される施設とするには性急すぎます。

答 市民が納得するものを市民と作ります

「市民の市民による市民のための施設」でなければなりません。急いで作るべしと言ったことはなく、市民が納得できるものを市民と作っていきたいです。（市長）

※自動体外式除細動器

一般質問

いちかわ がくと 市川 岳人 議員

質問項目

- 地域に開かれた学校を
- 市長の4選目出馬は



問 3期12年の自己評価は

市長就任後の自己評価として、推進できたこと、やり残したことはありますか。

答 公約としている3本の柱「こども、くらし、にぎわい。」を中心に施策を進めてきました

推進できたことは、地方債残高を市民一人あたり約99万円から78万円にまで減らすなど市の財政健全化、救急医療の再生と上野総合市民病院の黒字化や医師確保、給食費無償化など独自の様々な子育て支援の充実、空き家対策や移住事業などによるにぎわいの創出などです。

やり残したことは、子育て支援のさらなる充実や次世代を担う子どもたちへの質の

高い教育とその環境づくり、にぎわい忍者回廊事業の完了とさらなるにぎわいの創出です。また、能登半島地震などを機に、防災への意識がより高まっており、市民の安心安全を守っていくための対策等を早急に検討しなければいけません。

問 4選目出馬の意思はありますか

答 もう一期続けて皆さんの期待に応えたいと思います

問 伊賀市内で行われている助け合い活動の状況と活動に対して市の支援を

地域の助け合い活動には支援が必要です。市には支援体制がありますか。また住民自治協議会やボランティア団体等で行われている助け合い活動の実施状況を教えてください。

答 住民自治協議会だけでなく企業やNPO法人やボランティア団体等様々な活動があります

東部地域住民自治協議会では地域の親子や高齢者を対象に地域食堂を月一回実施しています。

玉滝地域まちづくり協議会では、70歳以上の高齢者や障がい者を対象に草刈りや買い物代行等日常生活支援を行っています。

柘植地域ではNPO法人杜のカフェいこいが常設カフェサロンで地元の食材を使ったランチを提供したり、配食サービスを行っており一人暮らしの高齢者等が集う場となっています。

伊賀市にはサロンやサークル、ボランティア団体等の社会資源が多く、社会福祉協議会の地域福祉コーディネーターが支援の役割を担っています。

かわかみ よしひで 川上 善幸 議員

質問項目

- 住みなれた地域で暮らし続けるための施策



たなか さとる 田中 寛 議員

質問項目

- 何のために
(行政目的を正す〈前編〉)



問 市長は、何んのために子育て施策に重点を置かれますか

答 持続可能な地域づくりです

問 私は、格差社会の是正と子どもは社会で育てると考えます

保育料は2歳までも第一子から、教材も無償化し、家庭保育で1歳まで月額3万円の補助、また習い事や塾も支援すべきです。

答 取り組むべきことについては、今後研究していきます

問 財源は、学校や保育所の大胆な統廃合から生み出し、充当すべきです

答 再編は必要だと考えており、現在、学校みらい構想の中で議論し

ています

問 高校生アンケートで、もしあなたが市長になったら、交通が便利で豊かな街にするとあります

バスの年間予算は約4億円。39自治協に配分すれば単純に一千万円の予算で、地域の公共交通が確保できます。

答 バス交通の時代は終わったと思います

問 外向きの政策も大切ですが、内向きがもっと大切です

水道料金は958事業者中640位、下水道は799中798位。公共料金が高すぎます。

答 ご納得いただけるよう研究します

☆一般質問☆ 本文は、質問議員が執筆し、質問議員の責任において掲載しています。

一般質問

ももがみ まな 議員
百上 真奈

質問項目

- 放課後児童クラブ（学童保育）の指定管理者制度
- 「隠れ教育費」の保護者負担軽減



問 学童保育に指定管理者制度や公募は妥当ですか

学童保育の収益は利用料ですが、子どもが辞めれば保育利用料も減るため収入が不安定で運営に見通しが持てず、原則公募で5年ごとに事業者が代わる指定管理者制度は、学童保育になじまないと考えますがいかがですか。

答 質の高いサービスが期待できます

施設管理や事業実施を安定的に管理運営できる人員やノウハウを有していることを客観的に判断できるため、公募を行い複数事業者から選定することにしました。

問 義務教育にかかる保護者負担の軽減を

憲法26条には「義務教育は、これを無償とする」と謳われています。経済的事情により学校から排除されることなく教育が受けられるよう、教材や学用品などの費用は国または自治体が負担すべきです。市として具体策を講じてください。

答 保護者負担軽減の方向で考え、動いています

個人で用意する物は規定外の物でも良いとするなど、軽減する方向で考え、動いています。

問 能登半島地震の災害教訓を伊賀市防災訓練にどのように活かしますか

答 住民防災意識の向上と自助・共助・公助の強化を図ります

教訓を地域と共有し、平時から地域のつながりを活かした災害時の避難方法や避難所運営の仕組みづくりなど、能登半島地震で問題となっていたことを地域の特性や課題に合わせて解決するような訓練を地域の皆様と実施し、自主防災組織の活性化など地域防災力強化につなげていきたいと考えています。

訓練にあたっては、女性の視点を取り入れることや高齢者等でケアが必要な方への

配慮ができるような避難所運営ルールづくり、外国人住民の訓練参画等を検討し、また、中学生議会において提案をいただきました地域の中学生の訓練参加を促進していきたいと考えております。

能登半島地震の教訓を活かすためにも、伊賀市総合防災訓練では、地域防災力の強化を目指し、より効果的な訓練を地域と一緒に取り組んでまいります。

ちかもり まさとし 議員
近森 正利

質問項目

- 農業への新規就農
- 防災・減災対策
- 軟骨伝導イヤホンの活用



ふくおか せいこう 議員
福岡 正康

質問項目

- 阿波地域に建設予定の産業廃棄物最終処分場事業計画
- 伊賀市高齢者輝きプラン



問 産業廃棄物処理場設置について

現在、三重県条例に基づき、事業者の説明内容に対する意見を住民自治協議会で取りまとめています。参考のため、伊賀市所有の道・水路の考え方を教えてください。

2月定例会会議で、「この地域は水源地域でありますので保全しなければならない。伊賀市としては、あらゆる手段を通じてこの事業が進められないようにしていきたいと思っています。」と答えていただいています。

今も変わりませんか。

答 その通りと理解していただきたい

あらゆる手段とは、私たちが持ちうる権能の中ということです。市道・水路に関

しての許認可の判断をする場合は、地元の同意も求めます。

問 一般介護予防事業及び高齢者の自主的な活動への支援を

答 高齢者輝きプランにより老人クラブ活動を支える助言・情報提供等支援を行います

令和5年度の政務活動費を報告します

交付の趣旨 政務活動費は、地方自治法の規定に基づき、議員が行う調査研究、研修、広報、広聴、住民相談、各種会議への参加等市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる活動その他住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費に対して交付されるものです。

交付対象と額 請求のあった議員に、半年分一括して交付されます。(月額2万円)

報告 交付を受けた議員は、使途基準に従って支出し、領収書等の証拠書類を添付した収支報告書を議長に提出します。

返還 残額がある場合は、返還します。

収支報告書写しの閲覧 場所：議会図書室（市役所本庁舎5階）
時間：8時30分～17時15分（土・日・祝日、年末年始を除く。）

ホームページでの公開 収支報告書は、市議会ホームページでも公開しています。

伊賀市議会ホームページ
QRコード▶



令和5年度 政務活動費 議員別収支報告書（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

（単位：円）

議員氏名	交付額	交付対象額	残額	報告内訳					報告額合計
				調査研究費	研修費	広報費	資料作成費	資料購入費	
				視察等の調査研究に関する経費	研修会等に参加する経費	活動、市政について住民に報告するために要する経費	活動に必要な資料を作成する経費	図書や資料等を購入する経費	
北山太加視	240,000	105,558	134,442	41,260	0	0	14,154	50,144	105,558
釜井 敏行	240,000	81,820	158,180	48,820	0	0	0	33,000	81,820
西條エリ子	240,000	213,920	26,080	11,000	202,920	0	0	0	213,920
西田 方計	240,000	240,000	0	52,150	0	0	0	251,925	304,075
濱瀬 達雄	240,000	72,055	167,945	0	0	72,055	0	0	72,055
増田 雄	240,000	233,879	6,121	74,000	65,180	72,055	0	22,644	233,879
森中 秀哲	240,000	193,469	46,531	52,080	70,300	0	0	71,089	193,469
川上 善幸	240,000	240,000	0	102,016	143,200	0	0	0	245,216
北森 徹	240,000	206,416	33,584	102,676	54,900	0	15,840	33,000	206,416
西口 和成	240,000	240,000	0	102,676	125,590	0	0	22,644	250,910
福岡 正康	240,000	109,750	130,250	41,480	68,270	0	0	0	109,750
宮崎 栄樹	240,000	152,330	87,670	54,110	20,000	0	0	78,220	152,330
桃井 弘子	240,000	147,055	92,945	60,000	15,000	72,055	0	0	147,055
山下 典子	240,000	156,429	83,571	40,560	0	0	0	115,869	156,429
市川 岳人	240,000	235,735	4,265	0	173,210	0	41,768	20,757	235,735
赤堀 久実	240,000	102,345	137,655	0	97,300	0	0	5,045	102,345
田中 覚	240,000	240,000	0	300,000	15,000	72,055	0	740	387,795
上田 宗久	240,000	110,480	129,520	14,000	64,920	15,180	15,840	540	110,480
近森 正利	240,000	48,940	191,060	0	33,100	0	15,840	0	48,940
中谷 一彦	240,000	64,320	175,680	0	64,320	0	0	0	64,320
百上 真奈	240,000	59,870	180,130	48,820	0	0	0	11,050	59,870
合計	5,040,000	3,254,371	1,785,629	1,145,648	1,213,210	303,400	103,442	716,667	3,482,367

※中岡久徳議員は、交付申請がないため掲載していません。

※「広聴費」、「会議費」、「人件費」、「事務所費」については全議員支出がなかったため、掲載していません。

令和6年9月定例会会議日程（予定）							会議期間28日間
日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3 本会議 (議案上程等)	4	5	6	7	
8	9	10 本会議 (一般質問)	11 本会議 (一般質問)	12 本会議 (一般質問) 終了後 決算常任委員会	13 各常任委員会 (予算・決算を除く) 終了後 決算分科会	14	
15	16 敬老の日	17 各常任委員会 (予算・決算を除く) 終了後 決算分科会	18 各常任委員会 (予算・決算を除く) 終了後 決算分科会	19	20	21	
22 秋分の日	23 振替休日	24 決算常任委員会 終了後 予算常任委員会	25	26	27	28	
29	30 本会議 (採決等)	10/1	2	3	4	5	

- ・すべての会議は、午前10時から始まります。また、日程は、変更になる場合があります。
- ・決算議案は、総務・教育民生・産業建設のそれぞれ3つの常任委員会委員で構成する決算分科会を設けて、より詳細な審査を行うこととしています。

ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送、YouTube をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

郵送 〒518-8501

伊賀市議会事務局

「議会だより感想」宛

TEL 0595-22-9687

E-mail gikai@city.iga.lg.jp

FAX 0595-24-7901

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を希望される場合は、上記までお問い合わせください。



伊賀市議会ホームページ

伊賀市議会

検索

議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か

議会は、事前申し込み不要で、どなたでも傍聴できます。

市民の皆さんが選んだ議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ、傍聴してください。

聴覚に障がいのある方で、手話通訳による傍聴を希望される方は、一般質問初日の2日前（土日祝除く）までに市議会事務局に申し出てください。

（対象となる会議：一般質問）

議場傍聴席に「FM補聴システム」を設置しています。



※本会議・決算常任委員会・予算常任委員会の模様は、午前10時からケーブルテレビで生中継しています。（再放送は午後7時から）

編集 後記

今年度、各常任委員会が1年を通じて取り組む課題を、市民の皆さまに、より具体的にお伝えするため、特集を組みました。市民の皆さまの議会に対する関心や興味を持っていただき、より信頼を高めていくために、良い紙面づくりに取り組んでいきたいと思ひます。（桃井 弘子）

人と地域がつながって イキイキ活動紹介

指定管理者制度を導入した住民自治協議会を紹介するシリーズ第5回。
伊賀上野城の北に位置する小田町住民自治協議会を訪ねました。

Q：小田町は、どんな所ですか。

A：昭和30年代は、人口1,000人ほどの農村でした。昭和40年代から大規模な工場が進出、その後も商業施設や新興住宅地が次々とでき、今は4月末現在、人口3,119人です。外国籍住民が17%おられることも特徴です。

Q：制度導入当初から、指定管理者制度を導入されましたね。

A：小田町は1自治会で1自治協です。自治協も自治会もほぼ同じメンバーなのに、指定管理者制度導入前は活動を区分する必要があり、窮屈な面がありました。今は活動の自由度が増し、導入のメリットを実感します。健康講座やオンライン工場見学など、民間企業と連携したイベントも開催しやすくなりました。

Q：特色ある活動を教えてください。

A：認知症当事者と家族が集う居場所づくりをしています。もともと介護予防のための「いきいきサロン」はありましたが、認知症になると参加しにくくなり、家にひきこもりがちになる人もいました。「安心して集まれる居場所があったら」と思い、8年前、町内のボランティア6人で「オレンジサロン小田」を立ち上げました。



元気が出ます！忍にん体操



「オレンジサロン小田」ボランティアのみなさん

Q：自分たちで行動を起こされたんですね。オレンジサロンでは、どんな活動を？

A：月に一度開催しています。午前中はカラオケや忍にん体操、午後は手先を使ったゲームなどで過ごします。お昼にはボランティアが作った味噌汁を味わいながら、持ち寄ったおにぎりを一緒に食べます。現在、認知症当事者7人とその家族が、「ここに来るのがいちばんの楽しみ」と遠くは名張市からも参加されています。

Q：自治協として、今後どのような活動をしていきますか。

A：町内広く水害ハザード地域に指定されていることから、防災への取り組みが課題です。外国籍住民の参加も、勤務先事業所の協力を得ながら進めていきたいと考えています。



毎年実施している自主防災訓練